

平成25年度大阪市立図書館の目標について

基本目標：

「いつでも、どこでも、だれもが課題解決に必要な情報にアクセス可能な“知識創造型図書館”」を基盤とし、さらなる発展と再構築をめざす。

地域の情報活用基盤として調査相談機能の高度化などにより市民の利用を促進し、誰もがいつでも情報や知識を活用して創造性・生産性を高めることができるように支援する。また、子どもの読書活動の相談・支援センターとして、学校や地域と連携して子どもの心と創造力を育む読書活動を市民との協働により効果的に推進する。

成果目標

図書館への来館者数と図書館ホームページ(トップページ)アクセス件数の合計数を前年度より増加させる

業績目標

商用データベースについて、広報や活用講座・データベース検定の開催を通じて周知を図り、総アクセス件数12万件をめざす

- ・幼稚園や保育所、高齢者福祉施設で活動する読書支援活動ボランティアを対象に、ステップアップ講座を継続して実施する
- ・すべての区において、読書支援活動ボランティアの情報交換や連携・協力が進むよう、交流会や情報交換会を実施する

1. 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値
レファレンス(調査相談)・情報サービス・情報発信機能の拡充 課題解決支援(情報検索支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・商用DBの利用促進 ・電子書籍の利用促進 ・ビジネス講座の充実 ・館内利用者用検索機使い方講座の開催 ・新着資料お知らせメールの送信 ・予約機能の拡充 ・メールレファレンスの利用促進 ・レファレンス事例公開 ・インターネット利用環境の整備 ・横断検索の実現(図書館内外の情報をワンストップで検索) 	<ul style="list-style-type: none"> ・商用DBアクセス件数12万件 ・電子書籍アクセス件数前年度比増 ・ビジネス講座開催件数増 ・使い方講座の継続開催 ・新規 ・メールレファレンス件数前年度比増 ・レファレンス公開件数の増 ・インターネット利用端末の設置(中央図書館)、自動車文庫での検索用端末の活用 ・新規
電子図書館機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・図書目録情報検索(OPAC)と商用データベース、電子書籍、デジタル・アーカイブとの連携(OPACの資料詳細画面から各データが閲覧可能に) ・表紙画像表示機能追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規
図書館資料の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書や基本図書など市民の課題解決に役立つ資料を継続して収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書の冊数増
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料を収集・整理して提供、保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料の冊数増
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料のデジタル化を継続して行い公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル資料の公開点数の増
	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習や読書活動支援のための図書の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援用図書の蔵書増
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書目録情報の計画的データ整備(データの豊富化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規
多文化サービスの展開	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と協働しての外国とつながりのある子どもたちが参加できる企画事業の実施 ・日本語に習熟していない人のためのやさしいにほんごのOPACの開設 ・OPACでの多言語検索が容易に(ユニコードの採用) ・外国語資料の充実 ・アメリカ資料の充実 ・関西アメリカンセンターとの共催による事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の絵本展開催 ・新規 ・アジア言語の蔵書増 ・アメリカン・シェルフの設置、講演会や展示の実施
市民への広報の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・広報媒体の効果的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数の増
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな情報発信サービスとしてメールマガジンの開始やSNSを使った情報発信の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規 ・ツイッターの発信回数増
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車文庫の広報拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車文庫 貸出冊数の前年度比増
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集方針公開 	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集方針の改定および周知・公開

2. 人と、心を育てる図書館へ

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、学校、地域、市民との連携事業の企画調整等を行なう

取組項目	具体的取組	指標・目標値
子ども読書活動の推進	・「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」の公開・周知	・第2次計画の公開周知
	・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の開催	・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の定例開催
	・学校への団体貸出や調べ学習支援、学校図書館活性化支援 ・学校支援総合ポータル開設 ・児童生徒に対するとしよかんポイント制度の導入による読書推進	・団体貸出冊数の前年度比増 ・学校図書館活性化事業 各種ボランティア講座の開催 ・26年度開設に向け、年度中に準備 ・児童・生徒の貸出冊数前年度比増
	・ボランティア養成講座の開催	・登録ボランティア2400～2500人継続維持
	・ボランティア間の情報交換等交流の場の拡大 ・ボランティア協働ポータル開設	・ステップアップ講座を2講座以上実施 ・全区でのボランティア交流会および情報交換会の実施 ・26年度開設に向け、年度中に準備
	・ヤング層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催 ・ティーンズのページの充実	・ヤング層向けの催しや企画展等の実施 ・「ティーンズのページ」のアクセス数増
	・やさしいにほんごのOPACの開設 ・図書の表紙画像表示機能など読書への興味をうながす検索システムの導入	・新規
	・幼児期読書環境整備事業の一層の周知と継続実施	・貸出冊数の前年度比増 ・ボランティア派遣回数維持
	・各区における絵本展開催支援	・絵本展開催に向けた支援回数増
	・OneBookOneOSAKA事業の継続・拡充	・投票数の増

3. 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値
人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・司書の専門性向上と人材育成の充実に必要な研修等の実施 ・外部研修への司書の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加者数増 ・派遣回数維持
自主財源の確保及び経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな財源確保や運営費の節減を図るための図書館施設や広報物を利用したの広告事業への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の維持 ・広告事業実施
図書館事業に関する成果(アウトカム)の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置と、主な意見に対する回答 ・利用者アンケートの実施 ・講習会・講座受講者アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケート結果、分析結果の公表
図書館情報ネットワークシステム移行に伴う、業務内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌市販データの導入による受入れ業務の迅速化と目次情報の豊富化 ・図書館カードの運用改善検討 ・利用サービス内容の改善検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規 ・年内に運用をマニュアル化、市民周知
市立中央図書館における蔵書点検休館日の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・経費増をできるだけ伴わない創意工夫による蔵書点検休館期間の短縮に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度実施に向け、年度中に調整
図書館情報ネットワークシステム移行に伴う、経常経費の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・システム更新によるシステム事業ランニングコスト低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・15%縮減(現行システム初期導入時比)